

## 香川県内の児童生徒の皆さんへ

冬休みが終わり、新たな目標を胸に学校生活をスタートしている皆さんに伝えたいことがあります。

日頃から、自分自身や家族、友達、そして、地域を新型コロナウイルス感染症から守るために、マスクの着用や手指消毒、ソーシャルディスタンスの保持等、「新しい生活様式」を引き続き実践されていることでしょう。

以前までの生活と違って、様々な面で行動が制限されている状況ですが、学校生活においては、皆さんの努力で学校行事等が少しずつ再開されてきたところです。

しかし、現在、国内において、新型コロナウイルス感染症者数が増加傾向にあり、1月7日に1都3県に対して緊急事態宣言が出され、今後、他の地域にも出される見込みです。

コロナ禍によって、私たちの日々の安心・安全な生活が脅かされ、ストレスを感じる場面が多くなりました。このような切迫した状況は、人権に対する意識を低下させ、時として、心ない言動で他者を傷つけ、人権を侵害する行為を生み出しやすくなります。

この感染症に関しては、感染者・濃厚接触者・医療従事者やその家族等が、SNS等を通じての誹謗中傷や差別的な対応を受けるなど、新たな人権問題が発生しています。

新型コロナウイルス感染症には誰もが感染する可能性があり、感染に対する「不安」を誰もが持っています。しかし、ウイルス感染に対する「不安」を感染者等への「排除や攻撃」に結びつけることは決してあってはなりません。

皆さんに大切にしてほしいことは、感染者等への「共感と配慮」です。その方々の人権を守るために、不安や苦しみ、置かれている状況を知ったり、想像したりしましょう。皆さん一人一人が今できることを考え、実行していきましょう。些細なことでも構いません。まず、家族や友達と「新型コロナウイルス感染者への偏見や差別」をテーマに話し合ってみませんか。その積み重ねが自分の人権を守り、他者の人権を守るにつながります。

皆さん一人一人の行動が新型コロナウイルス感染者への偏見や差別をなくし、新型コロナウイルスから社会を守るための効果あるワクチンとなり、特效薬にもなりえるということを忘れないでください。

令和3年1月13日  
香川県教育委員会  
人権・同和教育課